

TAISHOGURA HISTORY

大正蔵アーカイブ

越後杜氏による酒造りが行われていた大正蔵。

漆喰の壁、瓦葺きの屋根、煉瓦造りの煙突跡など、そのひとつひとつに人々の絶賛を浴びた銘酒「若鶴」の歴史が刻まれています。



大正11年 大正蔵建設

文久2年に創業して以来、米騒動や第1次世界大戦などの経済混乱を乗り越え設備拡張を敢行し、需要に対応するため大正11年に大正蔵を建設。生産力を上げ、名実ともに北陸第一の酒造会社。



昭和元～20年代

昭和2年、昭和金融大恐慌から始まった不況のさなか、巨費を投じて地下伏流水の汲み上げ装置を完備し品質向上を行う。景気の回復と共に樽太方面にも販路を拡大し、業績も酒の生産量も増加。



昭和30～60年代

昭和27年第一回全国清酒品評会で優等賞に輝いて以降、各種品評会で受賞を重ねる。昭和34年には南部杜氏の昭和蔵を新設。2つの蔵が競作した芳醇な酒が評判を呼び、需要がさらに拡大。



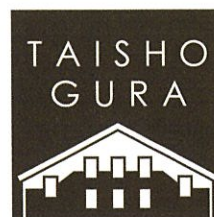
平成元年～

歴史的建造物として注目を集めるようになり、平成22年富山県教育委員会によって「とやまの近代歴史遺産百選」に選定。さらに、平成23年砺波市教育委員会より「砺波市ふるさと文化財」に登録された。



平成25年 新生 若鶴大正蔵

若鶴酒造創業150周年と北陸コカ・コーラボトリング株式会社の創立50周年の記念事業として、人が集い、語らい、心ふるわせる空間へとリノベーション。大正蔵の新たな歴史が始まった。



若鶴大正蔵 建築概要

木造切妻造棧瓦葺で、西面の土蔵造り、南面の漆喰大壁、東面のさしかけ造りが特徴。木造トラス構造により、柱の少ない大空間を実現。建築面積は794.16㎡(約240坪)。

- 平成22年3月24日 「とやまの近代歴史遺産百選」選定
- 平成23年1月26日 「砺波市ふるさと文化財」登録

若鶴酒造株式会社

〒939-1308 富山県砺波市三郎丸208
TEL.0763-32-3032 FAX.0763-32-1251

交通アクセス／北陸新幹線 新高岡駅よりJR城端線にて油田駅下車、徒歩1分

若鶴大正蔵へのお問い合わせ
TEL.0763-37-8159

【受付時間】月曜日～金曜日 9:30～17:00



若鶴酒造株式会社

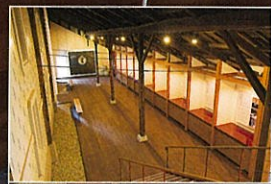
TAISHOGURA
大正蔵

時を超え、心酔わす空間へ。



時を超え、心酔わす空間へ。

かつて多くの蔵人が丹精込めて酒を醸した由緒ある蔵。
その92年という時間の流れに今、新たな息吹がもたらされました。
人々を心地よく酔わせるという酒蔵の魂はそのままだ。



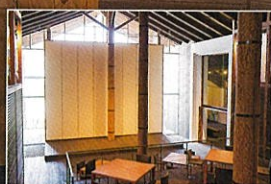
1 東展示室

若鶴酒造のあゆみや酒造りの工程をパネルで紹介。酒造道具の数々も展示。



2 西展示室

貯蔵タンクや若鶴ロゴが描かれた鉄扉を保存。当時の活気も伝わります。



3 ステージ

講演や演奏など多様な企画に対応できる広々とした舞台を設けました。



4 階段フロア

特徴的な階段状スペースは、開放的で空間全体を見渡せる特等席です。

